

旧統一協会の問題が連日クローズアップされ、昨日は自民党が各所属国会議員の関連を公表しています。ご照会があった際には逐次お伝えをしていますが、大津町においての状況をあらためてご報告ならびにご説明させていただきます。

まず、熊本県においては、県および11の市町、1町の教育委員会の計13行政機関が、旧統一協会系の関連団体と指摘されている「熊本県ピースロード実行委員会」主催の「PEACE ROAD 2022 in KUMAMOTO」に名義後援を行っていたことは当初報道の通りです。本県における活動は2016年の熊本地震からの復興を願うという色合いが強く、地震以降に被災の大きかった地域を中心に若者が自転車で巡るなどの活動を行っており、後援依頼は基本的に通過地点となる市町村に提出されていたようです。

まず、このピースロードの活動内容は同団体から提供された資料では、次のようになっており、現在の報道以前は大津町としても紙面通りの理解をしていました。

「Peace Road 2022 in Japan では、北は北海道から、南は沖縄から福岡を自転車で結び、リレー形式で縦走すると同時に、「連結」をテーマとする様々なイベントを展開いたします。また、日本の文化の一つである、「千羽鶴」プロジェクトも行い、この運動に賛同される皆様と共に平和と幸福の祈願を捧げる予定です。若者が新しい時代を切り拓く平和の担い手として成長し、世界的な平和文化醸成の一助となるように、各界各層の皆様の積極的なご賛同・ご支援をお願い申し上げます。(原文)」

当該団体に対し、大津町では申請があった本年のみ教育委員会の名義後援をしており、併せて町役場前において同団体が通過自治体で実施しているライダー宣誓などの10分ほどの出発式が行われています。当日、先方からは熊本地震からの復興や世界平和などに対する誓いなどがありましたが旧統一協会系団体の名称や教義等に触れる内容はなく、私より熊本地震からの復興取り組みへのお礼や、大津町が平和都市宣言を行っていることなどをご紹介しながら差別や偏見、争いのない世界を町としても広げていきたいということをお伝えしました。

ここに至る流れとして、「PEACE ROAD 2022 in KUMAMOTO」は本

年5月8日(日)に実施されていますが、町教育委員会への後援依頼は3月に出されています。教育部局は町長部局から独立しているため町長部局としては後援を出した件は把握できておりませんでした。別途、「当日に町役場近くを通過するため町長への表敬訪問をしたい」との依頼が役場総務課へあり、私には4月中旬頃に同課から訪問の申し出があったことや団体の活動趣旨、これまでの県内での活動、大津町教育委員会を含む複数の自治体や県内大手マスメディアが後援をしている点などの説明がありました。

当該報道の以前から特定の政党や宗教団体と町（公）としての関わりには面会も含めて注意してもらっているため、その時点で団体についてあらためて確認するように指示するとともに、私自身も自ら「ピースロード」や「実行委員長名」、さらに連絡を頂いた「事務局次長名」などをWEB検索して確認を行いました。しかしながら、当時の掲載情報からは町では宗教性なども把握・認識できなかったため、県内で復興支援に向けた活動を長年行っている実績もある団体ということで表敬訪問を了承しました。その後、訪問日の10日ほど前に急遽、総務課へ「表敬とともに出発式という形でライダーである若き青年達への激励を頂戴したい」との申し出があったため、(当該団体からではありませんが)大津町は熊本地震の際には多くの支援を頂いたという感謝の念があったことや、既に表敬訪問としての日程を確保していたこともあり、了承した次第です。

なお、大津町教育委員会としては事後ではありますが後援を取り消すとともに、広報用の宣材にも町に関する写真などは使用しないように申し入れを行っています。また、町全体として、今後は団体の活動や実績はもちろん、他の後援団体、さらに実行委員会形式の場合も役員や関係者に至るまでを、従前以上に精微に確認するよう改善を行っています。

このたびの状況について、心からお詫び申し上げるとともにより一層の厳正な行政運営に務めます。

なお、私個人として旧統一教会や関連団体からの支援や交流はないことを申し添えいたします。